

新ショールームにLED照明を全面導入。 販売店としての“環境性能”をアピールしています。

株式会社ホンダクリオ共立さま

店舗リニューアルの際に増築された新しいショールーム(新館)に、LED照明をほぼ全面的に導入。環境性能を競い合う自動車業界において、販売店としても積極的な環境への取り組みをアピールし、商談時の説得力を高めています。またブランドイメージの向上にも効果を発揮しています。



■ 導入先

株式会社ホンダクリオ共立さま



- 神奈川/川崎市(本社)
- 1966年設立。
神奈川県川崎市、横浜市で新車販売拠点5店舗、中古車販売拠点3店舗を展開されている。
- Honda Cars 川崎 港北店さま (本物件)

■ 導入商品

LED照明

DL-N036N×61台、DL-D012N×56台、DL-D010L×12台
DL-DS17N×22台、DL-JA42L×2個

- 2010年9月、ホンダカーズ川崎 港北店の新ショールーム内、展示スペース、商談コーナー、トイレ、エントランスなどほぼ全面的に導入された。

こんなソリューションを実現しました

Before

導入前(課題)

- 1 新しいショールームには、何か環境に貢献していることをアピールできるものが欲しいと思っていました。
- 2 展示車が美しく見え、明るく落ち着いた空間にしたいと考えていました。
- 3 夜間に集まる虫の死骸の清掃や、高い天井の電球交換がたいへんでした。

After

導入後(効果)

- 1 販売店の“環境性能”の象徴として、エコカーをお薦めする際の説得材料にもなっています。
- 2 展示車への映り込みも柔らかく、ギラつくような反射も少ない、高級感のある展示空間になりました。
- 3 虫の死骸が減り、清掃が楽になりました。また今後は電球交換の手間低減などにも期待しています。

■インタビュー



株式会社ホンダクリオ共立
ホンダカーズ川崎 港北店
店長 細野 純さま

導入の背景

自動車の環境性能だけでなく、販売店も積極的にエコ活動に取り組むべきと考えていました。

新しいショールームを増築する計画が持ち上がったのは、約2年前でしたが、当初のプランでは照明はLEDではありませんでした。

しかし、「これからは販社も積極的に環境活動に取り組まなければならない」という当社社長の強い意志と、新しいショールームには何が“目玉”になるようなものが欲しいという思いが重なり、ほぼすべての照明器具をLEDに変更することを決定。とてもスムーズに導入が決まりました。



店内にはLED照明をアピールするパネルも掲示しています。

選ばれた理由

決め手は「クルマをキレイに見せたい」という“こだわり”でした。

ショールームの照明は、展示車を美しく見せる上での重要なポイントです。そこで設計・施工担当のトータルエナジーシステム(株)様とシャープとで検討を重ねた結果、メインの照明となるストレート型のカバーを、半透明のパネルに変更することになりました。これまで以上の明るさを保ちながら、ギラつくような反射を抑え、展示車への映り込みも柔らかい、高級感溢れる展示空間を実現しました。“こだわり”へのきめ細かな対応の成果に、とても満足しています。

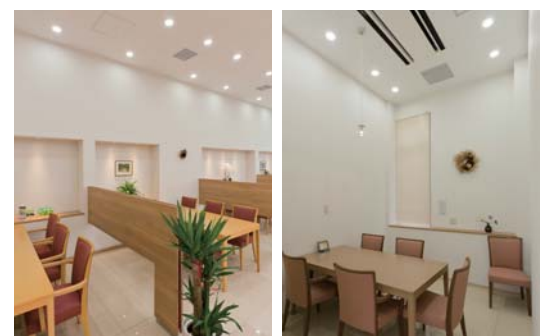


半透明のカバーパネルにしたことで、中のLEDがよく見えるようになるという効果も。

導入後の効果

環境対応をアピールすることで、エコカーをお薦めする際の説得力が増しました。

新しいショールームのご案内する際は、必ずLED照明の話をしています。LEDは家庭用としてもお客さまの関心が高いので、スムーズに商談へ移行できます。またハイブリッド車の販売台数の割合が、当社で展開する他店では5割程度なのに対し、リニューアル後の港北店は6〜7割と高くなっています。販売店として自らも環境活動に取り組むことで、各営業スタッフも自信を持ってエコカーをお薦めできるため、説得力も増しているのではないかと感じています。



商談コーナー(左上)、商談室(右上)、トイレ(下段)

今後の展望

まずは当社全店への導入拡大。そして販売店全体の環境意識向上につながればと思います。

すでに夜間に集まる虫の死骸が減るなどの効果は出ていますが、これからは、電球交換の手間低減など、さまざまな効果を実感できるのではないかと期待しています。今後、まずは当社他店舗への順次導入を検討中です。また、こうした当社の取り組みが販売店全体の環境意識の向上、さらにはホンダ全体のブランドイメージの向上につながればと考えています。